

# 天塩川暦



## 天塩川

天塩町に注ぐ天塩川は、流路延長256kmと全国第4位、北海道では石狩川に次ぐ第2位の長さの一等河川であり、北海道で唯一、北に向かって流れる大河です。天塩川の語源は、アイヌ語で「テッシ」築（やな）の多い川という意味に由来します。

## フェノロジーカレンダー

地域の自然と人の営みを表した生活季節暦のこと。それぞれの地域の動植物、祭礼行事、食の旬などの1年間の移り変わりを一目でわかるようにしたもので、自分の住んでいる土地とその特色を理解することができます。

## 天塩川の日本一

### 1. 日本最長のカヌーツーリング



### 2. 高級ヴァイオリンの材料

### 3. 日本最大の淡水魚 イトウの生息数最多

#### 1. 日本最長カヌーツーリング

天塩川はダムや堰堤など川を遮る工物の無い区間が157km≒100マイルと日本一です。つまり、157kmの区間にわたって人も魚も行き来ができます。

日本一長いカヌーツーリング大会「ダウン・ザ・テッシー・オーベツ」が1992年から毎年夏に開催されており、本格的なカヌーツーリングを楽しむことができます。

#### 2. 高級ヴァイオリンの材料

今から約100年前の明治時代、日本で最初にヴァイオリンを製作した「日本のヴァイオリン王」と呼ばれた「鈴木政吉」が製作し、現皇太子もご所有するヴァイオリンの表材は、「天塩松」（天塩産アカエゾマツ）が使用されています。

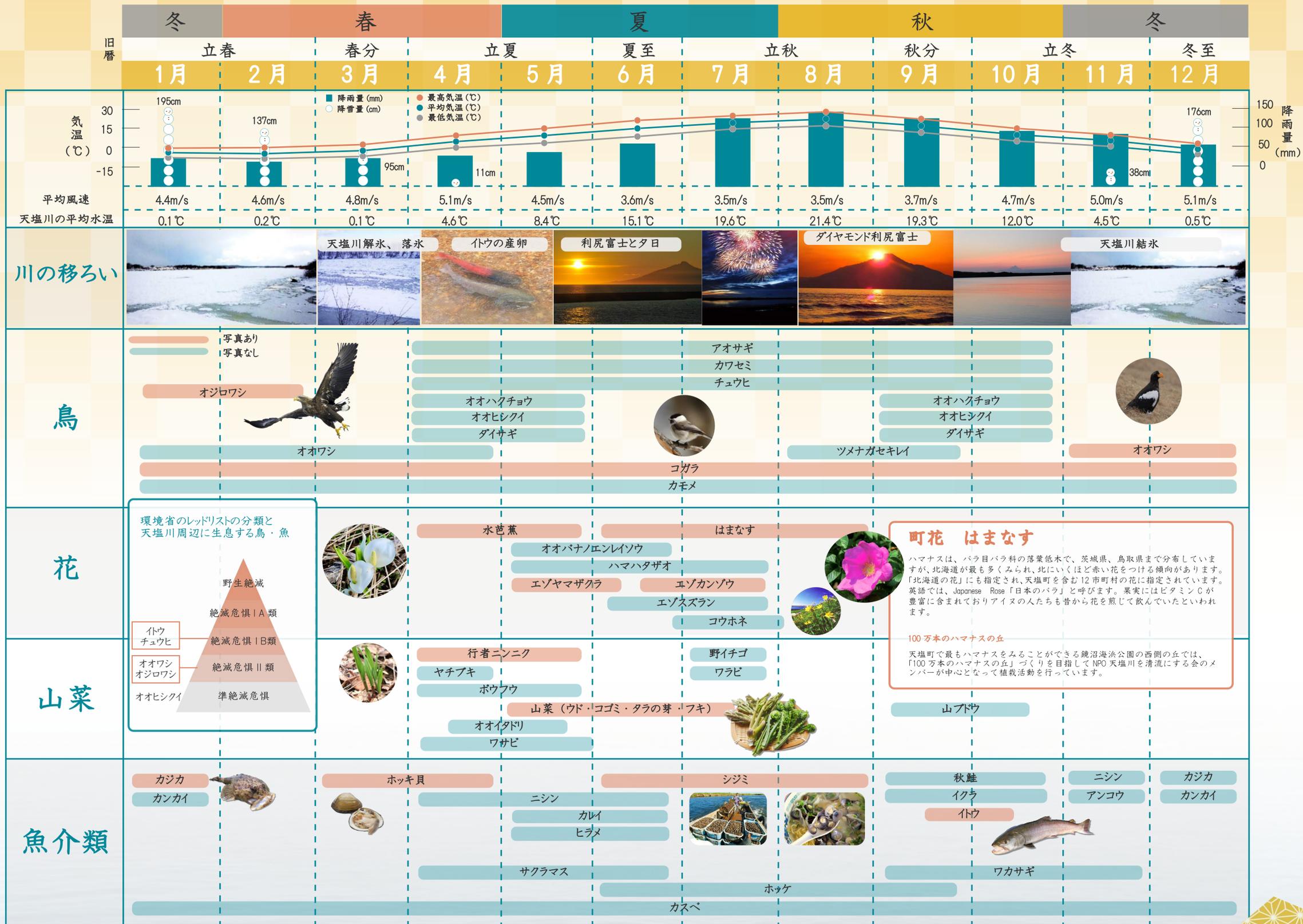
天塩川の河口（現在の鏡沼海浜公園キャンプ場）付近から、北海道外、海外に輸出されていました。

#### 3. 幻の魚イトウの生息数最多

絶滅危惧種に指定されている「イトウ」は、半世紀以上前には北海道内の河川に広く分布していましたが、現在では11水系のみに生残しています。天塩川は（河川水系単位でみた場合）残存するイトウの生息数が最も多いとされています。

毎年夏から秋にかけて、全国からイトウを求めて釣り人が訪れます。

他にも、絶滅危惧種である野鳥「オジロワシ」や「オオヒシクイ」も観ることができ、天塩川周辺には連続した豊かで多様性のある連続した生態系が残存しています。



## 天塩のじみ三大特長

- 一、蝦夷の三絶の一つ
- 一、日本で唯一国立公園内で獲れる
- 一、最も粒が大きく、最も成長が遅い

天塩町内の飲食店ではじみラーメンを提供しています。天然のじみだしを味わってみてはいかがでしょうか。



(春) 天塩川 膨らみ帰る 雁も去り  
 (夏) 螢の 間に落書き するごとし  
 (秋) 今朝秋の 白波目立つ 河口かな  
 (冬) 寒月を 川面に宿し 天塩川

## 俳句を詠む

季節の移ろいを感じられる天塩川は、句材の宝庫。毎年、道内外から俳句愛好家も訪れます。天塩青女俳句会の中には、北海道文学館俳句賞で大賞を取った方、雑誌掲載された方、句集を出版した方もいます。天塩川の風景や、上記の表にある鳥、花、山菜、魚介類を題材に、一句詠むのも天塩の旅の醍醐味です。